



# 「ロボットの目」となる 小型高精度測域センサー



## 北陽電機株式会社

**超小型でも  
高精度・広視野・高分解能**

オートメーションという言葉がまだ一般に普及する前から、自動制御の分野で、様々なオンリーワン商品を生み出してきた北陽電機。

創業以来、厳しい状況下でも開発に関しては手を緩めず、コンスタントに技術者を採用。社会のニーズに合った、より高度な自動制御装置の研究開発・製造に取り組み続け、日本初の純電気式自動ドアや、電子式・電磁式のカウンター等、常に世の中にない製品を生み出してきた。

現在の主力商品は、データ・トランスミッターとインテリジェントセンサー。前者は、搬送や半導体等、各種業界から要求される移動体への通信を可能にした「光データ伝送装置」。後者は、ロボット用のセンサーとして注目を浴びている「障害物検知用光電センサー」である。

いずれの分野でも、最新の技術力と圧倒的なシェアを誇る同社。特に目を引くのは、産官学の共同開発により取り組んだ高精度測域センサー「URG」シリーズ。平成17年の愛知万博に出展されたロボットの半数以上に、「目」として採用されたことで知られる。最近でも、大学等で研究中の家事サービスロボットや「CEATEC JAPAN 2008」に出展された自動車会社開発のロボットに採用。軽量で省電力な上、検知できる視野が広い商品として、幅広い分野での期待を集めている。

### 更なる挑戦あるのみ ニーズを汲み上げ育てる ステップアップの10年

ものの10年ほど遡れば、苦しい時期もあった北陽電機。光電センサーをはじめとした、核になる商品を育てていくことで、見事に再起と躍進を遂げた。

当初は、主に大学の研究用に提供していたロボット用のセンサーだが、徐々に企業で用いられるようになった。今や搬送やセキュリティの分野で重用されるなど、そのニーズは日々拡大している。

「これまで、生産の工程は外部企業に委託することがほとんどでしたが、3年くらい前からは、社内での生産比率も上がっています。着実性やスピードはもちろんです。企業の持つ生産能力や開発力を鈍らせたくないというのが、その大きな理由です」と尾崎仁志社長。そのためにも、現在の生産拠点である、三国

にある工場を移転拡大することも計画 중이다。

「このような緻密で高性能なロボット用のセンサーをつくっているのは、国内では恐らく当社のみだと思います。そのことに誇りを持ち、自信を持って海外の市場でも戦っていきたい。我々にとって、これからの10年は、ステップアップのときと位置づけています。常にチャレンジ精神を持って、世界中からニーズを汲み上げていこう。そう思い、社内一丸となって前進しています」。

北陽電機株式会社

Company  
Profile

住所 〒540-0028  
大阪府大阪市中央区常盤町2-2-5  
大阪HUビル

創立 昭和21年4月  
資本金 5,000万円  
従業員 160名 (平成21年1月現在)  
TEL 06-6947-6331  
FAX 06-6947-6350

ISO 9001  
ISO 14001

全国  
19  
関西  
19

<http://www.hokuyo-aut.co.jp/>



尾崎仁志さん  
代表取締役社長

#### 主な事業内容

光データ伝送装置、センサー、カウンタ、自動ドアの製造販売等